

小野 博司

高等司法研究科・教授

【研究】

- 1)「植民地統治(法制・含満洲国)」岩谷十郎＝松園潤一郎＝高田久実『よくわかる日本法制史』(ミネルヴァ書房、2025年6月)232-233頁(招待あり)を発表した。
- 2)「満洲有斐閣について」『大警視だより』続刊(21)(2025年7月)41-43頁(招待あり)を発表した。
- 3)「東條内閣期の行政裁判所改革:澤田竹治郎評定官手記を手がかりにして」『阪大法学』75(4・5)(2026年1月)47-69頁(招待あり)を発表した。
- 4)「帝国陪審協会詐欺事件」『大警視だより』続刊(22)(2026年1月)57-58頁(招待あり)を発表した。
- 5)「〔書評〕矢切努『帝国日本と地方財政調整制度』」『アジア経済』67(1)(2026年3月)99-102頁(招待あり)を発表した。

【教育】

高等司法研究科において「比較法史」(2単位)、「法理論」(2単位、オムニバス科目・責任教員)、法学研究科において「日本法史」(2単位)を、法学部において「日本近代法史」(4単位)、「演習」(2単位×2)、「法政導入演習」(2単位)、「法学の基礎」(2単位、オムニバス科目)を、全学教育推進機構において「大阪大学の歴史:適塾・緒方洪庵入門」(2単位×2、オムニバス科目)を担当した。

【管理運営】

- 1)高等司法研究科教務委員長として、所管業務に貢献した。
- 2)法学研究科・高等司法研究科資料室員として、所管業務に貢献した。
- 3)適塾記念センター兼任教員・同運営委員として、同センターの管理運営に貢献した。
- 4)大阪大学アーカイブズ兼任教員・同運営委員として、アーカイブズの運営に関して、公文書の保存管理公開という面での大阪大学の社会的活動に貢献した。
- 5)大阪大学グローバル日本学教育研究拠点兼任教員・同運営委員として、同拠点の管理運営に貢献した。

【社会貢献】

- ・法制史学会理事(2024年5月～)として、学会の運営に貢献した。
- ・『法制史研究』編集委員(日本パートナー)(2024年11月～)として、学会機関紙(『法制史研究』75号)の編集に貢献した。
- ・法制史学会第77回総会準備委員(2025年11月～)として、2026年5月に神戸大学で開催予定の法制史学会第77回総会の開催準備に貢献した。